

# 重大な事故防止に向けた安全対策

## 【 30 なぎなた 】

### 1 競技特性

なぎなたは、「なぎなた」という長物(2m15cm～2m25cm)を繰り出し、繰り込み、持ち替え、繰り返しなから、開き足、踏み替え足等、体さばきによって相手と攻防を繰り返し、技術を競い合う競技である。その運動は前後左右の直線の運動に終わらず、円運動の加速度を利用する動作が多い。敏捷、巧緻な動作を要求され、身体的、精神的にも高度な修練が必要である。

礼儀を尊び、稽古を日々継続し、積み重ねることが大切である。また、生涯スポーツとして適切な競技でもあるため、高校生は、練習する相手が幼児の時もあれば、高齢者の場合もあり得る。そのため、相手の年齢や熟練度にしっかり対応し、練習をしていくことが望まれる。相手を思いやる心や尊重する気持ちがとても大切な競技である。

#### (1) 主として施設・設備・用具が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> <li>床面の整備や点検不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>爪の剥離</li> <li>足裏の裂傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習の前後に丁寧にモップがけをする。体育館などは各種支柱の蓋や器具取り付けの穴をビニールテープやラインテープでふさぐ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防具の保管状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湿疹</li> <li>かぶれ</li> <li>異臭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防具使用後は、風通しの良いところに陰干し保管する。</li> <li>アルコール殺菌スプレー等を使用する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>なぎなたの破損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>刺し傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぎなたの先端は竹製なので、ささくれができて破片が落ち、足裏に刺さる危険性がある。練習の前後に手入れを欠かさないようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スネ当ての破損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>刺し傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スネ当ての一部は竹製なので、割れてひびが入り、ささくれが落ちて、足裏に刺さる危険性がある。壊れる前に補修する。</li> </ul>

#### (2) 主として活動内容が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> <li>足裏の摩擦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>足裏の水疱</li> <li>足裏の皮膚の破れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>足の裏の皮膚が弱い初心者に多いケガである。薬品で消毒して清潔に保ち、テーピングをしておく。さらに保護のため稽古用足袋を着用するようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>未熟な者が、防具のない場所を打つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打撲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未熟さや、相手との間がわからず接近戦が多い場面で起こりやすいので、一人ひとりの技術を向上させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>体さばきが悪く、態勢と打ちが一致しない場合に、捻れが生じて膝に負担がかかり捻挫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>膝関節内側副靭帯捻挫</li> <li>腰痛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい体さばきができるように基本練習を毎日行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち手でなぎなたを操作できず、添え手で打つために無理な力が腕や肩に掛かり筋肉痛になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腕、肩の強度の筋肉痛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打つ意識が強すぎると、添え手で打つことになる。基本練習を積み、打ち手でなぎなたを操作できるようにする。</li> </ul>

#### (3) 主として環境条件等が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨時期の滑りやすい床</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨折</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湿気で濡れた床を乾かすよう、扇風機を回す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>乾燥時期のなぎなたのささくれ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>稽古前の各自への注意喚起</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>Jアラート発令時の対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発令時の対応や様々な場面での避難方法について確認し、事前に周知しておく。また情報収集の手段や、関係者および保護者等との連絡方法について準備しておく。</li> </ul>

# 安全確認チェックリスト

## 【 30 なぎなた 】

競技会名	
期 日	令和 年 月 日 ( )
会 場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設・ 設備・ 用具	床の清掃を行ったか	
	床板に亀裂や隆起はないか	
	支柱用の金具はふさがれているか	
	なぎなたにささくれはないか	
	面紐、小手紐、胴紐は切れていないか	
	小手の内皮は破れていないか	
	防具に破損はないか	
	稽古着、袴、防具は体に合っているか	
活動 内容	状況に応じて足袋、サポーターなどを使用しているか	
	体調の悪い選手、けがをしている選手はいないか	
	着装は正しいか	
	無理な姿勢で稽古をしていないか	
	ウォーミングアップ、クーリングダウンは十分か	
	選手が稽古内容、稽古方法、稽古隊形を把握しているか	
	選手同士がぶつからないように、間隔をとっているか	
	選手同士がぶつからないように、互いに注意しているか	
	水分補給や休息は適切に取っているか	
	緊急時のAEDの使用方法、119番通報等の対応は十分か	
環境 条件 等	十分な換気が行われているか	
	WBGTが危険指数を示す場合、活動を休止または中止しているか	
	地震・火災が起こったときの避難経路は確保されているか	
発令 時 対 応	主催者や指導者がJアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか。	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか。	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか。	

反省・報告(事故、ヒヤリ・ハット含む)